

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.3

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43874

極秘

大蔵省
逓信省
農商務省
陸軍省
海軍省
文部省
司法省
内務省

八月十一日解任後在京米大使会誌録
八月十一日午後二時一十四分
場所 大蔵省
出席者 大蔵省 山田治官、高橋隆治局長、藤崎治長、
田中参事官、米澤長、
シカゴ参事大使、レニート公使、ハーツ書記官、
大蔵省は先般米保協会の問題が取極に關する大般の
重要關係、實に役の懇話の結果をお話す。(レ、
右の各の始上り方から條條に關する今日までの

回覽番号
米保 1767

外務省

合意、莫並に如何なる表現が為るべし、
説明し、續いて、其の決定に關する、
説明した、終に、結核から船田政調会長に對し、
外務大臣の説明は先般の覺快はした方針に
沿ふ、其の如何を確め、船田氏はその通り、
あると答へ、益右副総長は船田氏がどういふ
所ら、八月十一日の午後、覺快、
外務省

外務省

沿うものあり、党議に及するものは、いと述べ、他
に賛同は殆んどなかつた。行政協定に因しては、総
理から、外務大臣の説明に於ても、各州の要望
を全部取上げ、検討したるものあり、党の希望
する左側改定の趣旨に沿つて、さういふ言があつ
た。

外務省

冷が、同会提案のタスキングに對し、論議あり、結論

その、同会対策上、通常国会に於するものは、一
應、^{ハ、ヒシ}適当であることになつたが、今、これを、^{ハ、ヒシ}若くは、^{ハ、ヒシ}
社民党のキチに對するものになるから、発表は、しな
かぬものになつた。通常国会を適当とする、現用は、
の通りである。即ち、同会を用いた時、
賠償と貸付條約と二つを、分けなければならぬ。
我々の憲法上、予算及行政は、衆議院通過

外務省

後、会期三十日を経過す小正、参議院の承認が
 し果とも成立するに及ばない。臨時国会を召集す
 小正、通常国会の日程及政府の予算編成
 の関係上、選共十一月十日、十五日には
 解散（なり）小正ならぬ。と、参議院に三十日の
 休会を要求するたが、選共十一月の八日頃
 迄には選り込みなり小正ならぬ。従つて、衆議院の

外務省

衆議院に於て、九月二十七日、八月迄には解散なり小正
 ならぬ。更に、エトム賠償は、安海條約より
 先に調印さし、あり。と、参議院に一月かかる
 とす。小正、臨時国会は、八月二十六日、九月一日
 には開かむけぬならぬ。斯く、臨時国会が
 八月末から、丁月上旬、ト、有る様なりは、国会が

外務省

第百四号から下、ウエトム暗債に付ける小引
の回金は十月半に開ければよいことになる。
本債の説明の意味深く採られた。その様に取計は
ゆるやかな。或は賢明であると思ふ。右のタ
にまれば署名は何の値と云ふのになるか。
在、臨時国会中は署名は出来ない。又臨時
国会が閉会する小引、臨時国会にかけるといふ

外務省

議案もあつたが、署名は十一月半にしよう
にしようと思ふ。
今までは早期に御用と云ふ二つの考えが、
インテリといふのは考えがたつたが、
署名が延びる場合は條約協定が附属文
書に纏まり次第と知られたら、インテリす
るのも考え得ると思ふ。尤もその点はまた

外務省

めいとの欲のほたる。

大使 善、日か開のふとアルする、こつを直義と考へ

らふ、ならん、例も、と書るの、は、おんか、と、書う。

と、毎、片道、覚、乃乃が、情、田舎、下、かけ、こ、う、の、

か、近、在、開、は、せ、り、大使、館、友、り、と、ト、レ、に、も、土、

暇、日、暇、を、な、交、情、を、え、り、が、せ、ら、れ、、其、、の、、か、

と、り、其、、日、、甚、、と、、云、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

外務省

情のあるが、不意に下願ひる。

大使 交情をえり、其、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

と、其、、日、、甚、、と、、云、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

七、其、、日、、甚、、と、、云、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

く、其、、日、、甚、、と、、云、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

提、其、、日、、甚、、と、、云、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

古、其、、日、、甚、、と、、云、、の、、甚、、に、、思、、は、、る、、に、、、、今、、り、、仲、、し、、土、、に、、た、、り、

外務省

大正 四時、ラニ、施設の問題については既に話し
合はれたものとする。解決するに如何。

大正 自らのほうからは、さうら施設を迅速には正式
提議により解決するつもりである。

大正 良く分った。その他も同鉄関係の補償、電

話料の問題等がある。お話の如く、思田に二名位

お眼にかかると他の問題もお話しをゆかぬ。

外務省

大正 吉田、アノ、女權の文に、これは總理が裁否にお返し
し、その上上げたい、事務的に研究する、必要あり、
総理不在中、研究の上、協定後、總理の決裁を
經入、御返のりする。

大正 此の問題に、いよいよ米側も、お目と付け考えたが、
どうしても譲歩ない原則問題である、又、日側則に
は身縮め、的、この扱つかという極め難い、由

外務省

題があるのと思われ
以て必要としない
ものは
あてにならない。

この際、東に申上げ、
一、東より、昨日の

ジャパンタウスの
東海線は東海線は問題
は日本の中の

東西対立の
一、カウンに
なるとおあり

今後の
政府側
専ら辯護に
努めること
が建設

的
キャンパンを
おこさない
という趣旨
の記す

外務省

つかげの
あり、大臣
がより、
夏は
大い
ドPR
活動
を
おこ
す
と
い
う
お
ら
い
た
の
を
想
定
す
る。
を
お
き
が
い

ある。自分
は、朝
ニ
ー
ク
タ
イ
ス
が
NBC

社長に
おし、
ニ
以
向
上
に
直
リ
ア
リ
ア
ン
グ
を
や

つたが、
銀
等
は
日
本
政
府
は
容
共
勢
力
カ
ド
ー
2

やら
い
つ
と
の
感
心
を
も
ち
、
日
本
信
託
の
四
期
を
お
こ
す

七月
半
開
降
と
い
う
も
重
大
な
問
題
が
あ
る
う
つ
と
の

外務省

危機を再燃させた。自身は総理及外務大臣は
 是れを對処し得ないから大丈夫であるといつて
 いたすが、確かに積極的を陰謀活動の必要が
 あると思う。例が、第二次大戦後と小島、白根
 の膨脹を押し進めた白根が、面々退き、
 東洋は弱体化し、米国の相対的比重が増した事
 象に對して、東洋は共同という非難は大きな力が

外務省

米国のこの世界の力関係の変化があり、日本の
 力は自らを守る力をもつては不可能であり、
 西欧のNATOという安全保障措置に
 依頼する必要がある。日本が立つ
 とこの力が、日本の新機軸のために必要を抑制力
 があるというものを議論が必要である。自身
 は印緬の議論が、いさという事は無いが、然し

外務省

條約改訂は日本を競争に捲き込めたいものがある
とが、その他は議論が対立を醸成するのみが
な、何等か積極的なPRが必要であると思ふ
大體 その点は同感である。新條約が出来上がる
のは若干遅く、その間にそのために生じた
影響の年格は少なからず、積極的PR
をとりだして置く。去般の重要閣僚三役

外務省

組織の隆と、党の方針組織的PRを
なすところの必要をいふが、自分も心強く聞かしている
次第がある。自分は明日大阪に行く。又、今
月中には杉本、藤井等が帰る大分にして出来
るわけが、たまたまつくりがある。
以下北鮮降参問題²の²合議を以て
つた。

外務省